

公益財団法人東海交通遺児を励ます会 会報

はばたけ

～希望と勇気と自立～

- 会の目的 交通遺児の自立を支援します。
- 会の事業 目的に沿って、次のような年間行事を計画しております。
- * 3月 中学を卒業する交通遺児を励ます集い
卒業生の門出を、保護者と共に祝います
中学卒業祝金15万円を卒業生に贈呈
 - * 8月 親子グランピング
 - * 12月 交通遺児を励ます大会 交通遺児及び保護者が支援者、寄付者と共に集います
来春小学校に入学する児童に入学祝金10万円を贈呈
 - * ふれあい懇親会 (子ども同伴可)
保護者が抱える問題を共に語り合い、子ども達は当会のボランティアとの交流を楽しみます。
 - * 「親子旅行」を年数回
 - * 随時 支援者からの招待行事、催しに参加
 - * 2月、6月、10月 会報「はばたけ」 年3回発行



僕は今幸せです

第53回

中学を卒業する交通遺児を励ます集い

令和7年3月16日

サイプレスガーデンホテル



東海交通遺児を励ます会の皆さんへ
岡田 悠太郎

東海交通遺児を励ます会の皆さん、僕は、この春中学校を卒業し、4月から高校生になります。中学校では、たくさん思い出を作ることができました。その中でも特に印象に残っているのが吹奏楽部としての活動です。最初に入部した時は、知らないことばかりで不安があったけど、周りの仲間や先輩達と共に高め合い、3年生の最後のステージで

これからの毎日笑顔で楽しく過ごしていきたいです！



3年間の中学校生活とても楽しかったです。
佐々木 果梨

あつという間の3年間でした。友達と話したり、勉強したり、行事をしたりと心に残る思い出ばかりで毎日が充実していました。特に3年生の体育大会が印象に残っています。応援合戦では、各クラスでフリヤセリフを1から考え演技を競い合いました。クラス愛のこもったパフォーマンスができ、最高の思い出になりました。本当に幸せな中学校生活でした。

来年からは、高校生として新たな人生のスタートです。勉強や部活など何事にも全力で取り組み、青春した学校生活を送りたいです。私の将来の夢は「英語の教師」になることです。大好きな英語の魅力を伝え、世界で活躍できる生徒を育てていきたいです。生徒のことを第一に考え、優しく、明るい先生になりたいです。そのためには、今勉強に一生懸命とりくみ大学進学を目指していきたいです。

は、最高の演奏をして締めくくることができました。

そして、この会でも思い出をたくさん作ることができました。グランピングやクリスマス会、デイズニール旅行など様々な場所へ行き、それぞれで非日常的な体験をすることができました。友達もでき一回一回の会が楽しみになりました。このような会を開いてくださったこと、本当に感謝しています。これからの高校生活では再び吹奏楽部に入り、より一層力を入れていきたいと思っています。

最後に東海交通遺児を励ます会の皆さん、OB・OGの皆さん、この会で出会った友達、いつも一緒に楽しい時間を過ごさせてもらいありがとうございます。皆さんのこれから先の生活が充実した1年となる事を願っています。

中学校での生活

中村 文人

私は、中学校で吹奏楽部に所属していました。私達の学校は強豪校で厳しい顧問の元、テスト期間以外は、休日も朝から日が暮れるまで、毎日練習をしていました。

私の担当楽器は、ユーフォニアムです。最初は音の出し方も不安定で思うような音を出すことが出来ませんでした。しかし、指導者の助言を受けながら毎日練習に励むうちに次第に自信が付き、技術も向上していきました。そして、最終学年の一番大きな大会では、ソロを貰う事が出来ました。とても緊張しましたが、お

私は、正直まだ自分の将来がどうなるか分かりません。

特別「こんな仕事がないからです。なので今回は、こんなことがしてみたい！こんな人になりたい！ということについて話してみようと思います。

私は、将来外国に行ってみたいと思いました。理由は、私の目に外国はすごく魅力的に見えたからです。日本とは違う町並みや風景、それだけで私が外国に行きたいと思うには十分でした。ですが、それ以上に惹かれたのは、人の姿でした。皆が個々に好きなことをしていて自分を大事にしているように見えたからです。

私は、外に出る時、周りの目をよく気にします。誰と会っても恥ずかしくないようにしなくては、という風に思っていました。私は、そんな自分が好きではありません。だから、外国で日常を送っている人に憧れを感じました。私も「自分を大事に出来る人になりたい。」そう思いました。私は、まだ外国の事をインターネット上でしか知りません。実際に現地に行ってみれば人の思いや価値観、常識など自分と違う所がたくさん出てくると思っています。これらを知っているのも1つの楽しみだと思っています。

私は今、外国に行くために英語の勉強に力を入れています。将来、自分を大事に出来る人になるために。いくつになっても目標を持ち、夢を追いかける。そんな人になれるようこれからも日々努力していきます。

自分の将来について

越田 てまり



私は、正直まだ自分の将来がどうなるか分かりません。

特別「こんな仕事がないからです。なので今回は、こんなことがしてみたい！こんな人になりたい！ということについて話してみようと思います。

私は、将来外国に行ってみたいと思いました。理由は、私の目に外国はすごく魅力的に見えたからです。日本とは違う町並みや風景、それだけで私が外国に行きたいと思うには十分でした。ですが、それ以上に惹かれたのは、人の姿でした。皆が個々に好きなことをしていて自分を大事にしているように見えたからです。

私は、外に出る時、周りの目をよく気にします。誰と会っても恥ずかしくないようにしなくては、という風に思っていました。私は、そんな自分が好きではありません。だから、外国で日常を送っている人に憧れを感じました。私も「自分を大事に出来る人になりたい。」そう思いました。私は、まだ外国の事をインターネット上でしか知りません。実際に現地に行ってみれば人の思いや価値観、常識など自分と違う所がたくさん出てくると思っています。これらを知っているのも1つの楽しみだと思っています。

私は今、外国に行くために英語の勉強に力を入れています。将来、自分を大事に出来る人になるために。いくつになっても目標を持ち、夢を追いかける。そんな人になれるようこれからも日々努力していきます。

客さん達に楽しんでもらえる自分も楽しくなりますし、いい評価を受けるとこれまでの苦労が一気に報われたような達成感を感じることが出来ました。

また、私は副部長と金管のパートリーダーとして、部活動を支える役も担っていました。私達の顧問は練習に対して厳しく、部員たちと衝突することもありました。そんな時には、先生に直接部活の雰囲気や良くなるための提案をしたことでもあります。これらの経験を経て、私は音楽の技術だけでなく、リーダーシップや対人コミュニケーションの大切さを学びました。強豪校という厳しい環境の中で壁にぶつかりながらも乗り越える経験は今後の人生においても大きな糧になると信じています。

このように中学校では吹奏楽に全てをささげてきましたが、高校になったら私は自分の夢に向かって勉強したいと思っています。私は、将来外来生物の対策、そして『さかなクン』のように魚の魅力を沢山人人に伝えたいです。そのきっかけをくれたのはこの会で連れて行ってもらった琵琶湖博物館です。この時に琵琶湖の生き物達を見て、水生生物に興味を持ち、いろいろなことを調べるようになりました。その中で、私の目に止まったのは環境問題でした。このまま行くと天然の魚を食べられなくなってしまう。そのようなことにならないよう、高校では今までの以上に勉強し、大学へ行き、専門的に学びたいです。様々な視点からの考えも知りたいので、海外へも行きたいです。

最後になりましたが、今まで私の成長を見守って頂き有難うございます。そして、これからも宜しくおねがいします。



「第53回中学を卒業する交通遺児を励ます集い」の開催にあたり、愛知県教育委員会として、一言励ましの言葉を添えさせていただきます。

多くの障壁を乗り越え、義務教育の課程を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。

いよいよ次のステージが始まるという今、皆さんは、喜びや期待、そして少なくない不安な気持ちを持ち合わせているのではないのでしょうか。

「先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態」などと表現されることの多い昨今ではありますが、これは、様々な経験をしてきた大人が使う言葉です。未来を生きて、無限の可能性のある皆さんには、ぜひ、チャンスが多い時代であると考えていただき、臆することなく前を向いて歩んでいっていただければと思います。

そんな新しい時代を生きてる皆さんに、私から伝えたい言葉は「自分を大切に」ということです。頑張り屋の自分も、自分だけが知っている弱い自分も、丸ごと受け止め、大切にしたいと思っています。誰かと比べる必要はありません。今の自分としっかりと向き合い、自分らしさを大切に、自分の可能性を信じて歩んでいってほしいと願っています。

皆さんが皆さんらしく前を向いて歩んでいけば、必ず道は開けるはずです。

励ましの言葉

愛知県教育委員会 義務教育課 主査 後藤 義広 様

皆さんの活躍を楽しみにしています。最後になりますが、本大会の開催にあたり、御尽力されました「励ます会」の関係者の方々に敬意を表しますとともに、御支援を賜りました皆様に心から感謝申し上げます。私からの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

皆さん、おはようございます。本日の「中学を卒業する交通遺児を励ます集い」関係者の皆様はじめ大勢の皆様にご出席をいただき、開催できますことを厚く御礼申し上げます。

また、後ほど、子ども達に励ましの言葉を頂戴します愛知県教育委員会の後藤先生・名古屋市教育委員会の安田先生、子ども達に記念品をお渡しいただきます社会福祉法人中日新聞社会事業団の林様、お忙しい中、ご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆さん中学ご卒業おめでとうございます。「中学校を卒業する」とは、義務教育の9年間を無事に終え、これからの新しい高校生活がスタートする時期だと思います。今まで苦しいことや悲しいこと、辛いこと、いろいろな出来事があったと思います。

しかし、その一つ一つは、お母さん・先生・友達、周りの人達に支えられ、励まされながら、その時々の問題を解決し、乗り越え今日があるのだと思います。

そして、その時々感謝の気持ちを、高校に入るまでに少しお考えになられ、その感謝の気持ちを持ち続け、これからの人生を歩んで行っていただけたらと思います。

今までの学校生活や私生活は、周りの人たちに言われた通り行えば、それで良かった時代だったかもしれません。これからの高校生活は、自立して成長しながら大人



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから新しい道へすすまれる皆さんへ、「こんな人になってほしい」という私の思いをお伝えしたいと思います。

それは、皆さんには、「自分の気持ちをしつかりと言葉で伝えることができる人」になってほしいということです。私自身、毎日生活する中で、言われてうれしい言葉がたくさんあります。仕事で頑張った時に、それを見てくれた仲間から「頑張っていますね」と言われること、家族に「〇〇してくれてありがとう」と言われることなどです。また、今までの人生を振り返る中で、忘れられない言葉もあります。その言葉で大きな決断ができたこともあります。言われる言葉によって、やる気が出てきたり、優しい気持ちになったりするので、皆さんもどうでしょうか。誰かの言葉で元気になったり、頑張ることができたりしたそんな経験はありませんか。

「以心伝心」「目は口ほどにものを言う」という言葉もありますが、なかなかそのようなことはないので、言われないかと思ひます。「言わなくても分かるでしょう」というのは難しい事です。感謝の気

持ちも楽しい気持ちも、誰かを心配している気持ちも思っているだけでは、レパシーのように相手には伝わりません。しつかりと言葉にして伝えていくことで、より楽しくなり、心配された相手は勇気づけられるはずです。

そして、時には、辛い気持ち、不安な気持ちを、言葉で伝えることもとても大切です。嫌な気持ちを抱え込んでいては、毎日を気持ちよく過ごすことはできません。言葉にして、信頼できる人に伝えることで辛いことや不安なことが、減ったり解決の道筋が見えたりすると思います。言葉にはそんな大きな力があります。

「言葉の力の大きさ」を知り、皆さんのもつ優しさや、思いやりの気持ちをしつかりと言葉にして伝えながら、豊かな人生を歩んでいくください。応援させていただきます。

以上で私からの励ましの言葉とさせていただきます。

皆さん、おはようございます。本日の「中学を卒業する交通遺児を励ます集い」関係者の皆様はじめ大勢の皆様にご出席をいただき、開催できますことを厚く御礼申し上げます。

また、後ほど、子ども達に励ましの言葉を頂戴します愛知県教育委員会の後藤先生・名古屋市教育委員会の安田先生、子ども達に記念品をお渡しいただきます社会福祉法人中日新聞社会事業団の林様、お忙しい中、ご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆さん中学ご卒業おめでとうございます。「中学校を卒業する」とは、義務教育の9年間を無事に終え、これからの新しい高校生活がスタートする時期だと思います。今まで苦しいことや悲しいこと、辛いこと、いろいろな出来事があったと思います。

しかし、その一つ一つは、お母さん・先生・友達、周りの人達に支えられ、励まされながら、その時々の問題を解決し、乗り越え今日があるのだと思います。

そして、その時々感謝の気持ちを、高校に入るまでに少しお考えになられ、その感謝の気持ちを持ち続け、これからの人生を歩んで行っていただけたらと思います。

今までの学校生活や私生活は、周りの人たちに言われた通り行えば、それで良かった時代だったかもしれません。これからの高校生活は、自立して成長しながら大人

は、最高の演奏をして締めくくることができました。

そして、この会でも思い出をたくさん作ることができました。グランピングやクリスマス会、デイズニール旅行など様々な場所へ行き、それぞれで非日常的な体験をすることができました。友達もでき一回一回の会が楽しみになりました。このような会を開いてくださったこと、本当に感謝しています。これからの高校生活では再び吹奏楽部に入り、より一層力を入れていきたいと思っています。

最後に東海交通遺児を励ます会の皆さん、OB・OGの皆さん、この会で出会った友達、いつも一緒に楽しい時間を過ごさせてもらいありがとうございます。皆さんのこれから先の生活が充実した1年となる事を願っています。

中学校での生活

中村 文人

私は、中学校で吹奏楽部に所属していました。私達の学校は強豪校で厳しい顧問の元、テスト期間以外は、休日も朝から日が暮れるまで、毎日練習をしていました。

私の担当楽器は、ユーフォニアムです。最初は音の出し方も不安定で思うような音を出すことが出来ませんでした。しかし、指導者の助言を受けながら毎日練習に励むうちに次第に自信が付き、技術も向上していきました。そして、最終学年の一番大きな大会では、ソロを貰う事が出来ました。とても緊張しましたが、お

客さん達に楽しんでもらえる自分も楽しくなりますし、いい評価を受けるとこれまでの苦労が一気に報われたような達成感を感じることが出来ました。

また、私は副部長と金管のパートリーダーとして、部活動を支える役も担っていました。私達の顧問は練習に対して厳しく、部員たちと衝突することもありました。そんな時には、先生に直接部活の雰囲気や良くなるための提案をしたことでもあります。これらの経験を経て、私は音楽の技術だけでなく、リーダーシップや対人コミュニケーションの大切さを学びました。強豪校という厳しい環境の中で壁にぶつかりながらも乗り越える経験は今後の人生においても大きな糧になると信じています。

このように中学校では吹奏楽に全てをささげてきましたが、高校になったら私は自分の夢に向かって勉強したいと思っています。私は、将来外来生物の対策、そして『さかなクン』のように魚の魅力を沢山人人に伝えたいです。そのきっかけをくれたのはこの会で連れて行ってもらった琵琶湖博物館です。この時に琵琶湖の生き物達を見て、水生生物に興味を持ち、いろいろなことを調べるようになりました。その中で、私の目に止まったのは環境問題でした。このまま行くと天然の魚を食べられなくなってしまう。そのようなことにならないよう、高校では今までの以上に勉強し、大学へ行き、専門的に学びたいです。様々な視点からの考えも知りたいので、海外へも行きたいです。

最後になりましたが、今まで私の成長を見守って頂き有難うございます。そして、これからも宜しくおねがいします。



皆さん、おはようございます。本日の「中学を卒業する交通遺児を励ます集い」関係者の皆様はじめ大勢の皆様にご出席をいただき、開催できますことを厚く御礼申し上げます。

また、後ほど、子ども達に励ましの言葉を頂戴します愛知県教育委員会の後藤先生・名古屋市教育委員会の安田先生、子ども達に記念品をお渡しいただきます社会福祉法人中日新聞社会事業団の林様、お忙しい中、ご臨席賜り厚く御礼申し上げます。

さて、皆さん中学ご卒業おめでとうございます。「中学校を卒業する」とは、義務教育の9年間を無事に終え、これからの新しい高校生活がスタートする時期だと思います。今まで苦しいことや悲しいこと、辛いこと、いろいろな出来事があったと思います。

しかし、その一つ一つは、お母さん・先生・友達、周りの人達に支えられ、励まされながら、その時々の問題を解決し、乗り越え今日があるのだと思います。

そして、その時々感謝の気持ちを、高校に入るまでに少しお考えになられ、その感謝の気持ちを持ち続け、これからの人生を歩んで行っていただけたらと思います。

今までの学校生活や私生活は、周りの人たちに言われた通り行えば、それで良かった時代だったかもしれません。これからの高校生活は、自立して成長しながら大人

へと向かっていく。また、夢や希望を叶えるための努力をする時ではないかと思ひます。

「自ら考え、自ら行動し、自ら責任を取る」そんな大人になるために、私から一つの言葉を贈ります。英語で大人を意味する「アダルト」。その語源は「食べ物を与える。養う」とあります。

これからは、周りの人に食べ物を与え、心を与え、困っている人がいたら助けてあげる。

そして、誰からも認められ、社会に貢献する大人になるための勉強と、皆さんの夢や希望を叶えるための勉強に努力してください。

さて、お母さん方、お子様の中学ご卒業おめでとうございます。子ども達は成長と同時に、さも親を必要としないかのように立ち振る舞うものです。しかし、それは子ども達の自立であり、成長だと私は思ひます。しかしながら、子ども達が大人になるまで、順風満帆に何事もなく成長できるわけではありません。障害にぶつかり、悩み、もがき苦しむ時もあると思います。その様な時に子ども達が、いつでもお母さんの懐に戻り、相談でき、寄り添い、その問題を解決できるようなご家庭をお作りいただきますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、中学校卒業する「想い」というタイトルで発表をしていただく4人の子ども達と、ご講話をいただく役員の方々に感謝を申し上げます。

また、皆さんは、中学の卒業をもって「東海交通遺児を励ます会」と、縁がなくなるわけでは決してありません。我々は皆さんに、寄り添い、見守り、これからも会を進めて参る所存です。

皆さんにとって、この「東海交通遺児を励ます会」を有益にご活用いただきますようお願い申し上げます。私から皆さんへの卒業のお祝いの言葉とさせていただきます。

中学校を卒業するということは一つの大きな節目で、義務教育を終え、新たなステージの高校生活が、4月より始まります。同じ学校の中の延長ですが、環境や人間関係に学ぶ内容も大きく変わっていきますので、いろいろな戸惑いもあると思います。私も何十年前前ですが、たくさん戸惑いました。中学では授業を受けていれば先生が教えてくれましたが、これからは自分で勉強していかなければいけません。その切り替えが難しくもあります。

また、新しい人間関係などもあり、慣れるまではしばらくかかりますが、新たなステージのスタートを切っていただきたいと思います。

今日は講話ということで少しお話をさせていただきます。

皆さんはステイブ・ジョブズという人を知っていますか。

彼は、数年前にお亡くなりになりましたが、Appleの創業者でもあり、Appleコンピュータの会社のトップとなつている人です。彼は、2005年にアメリカのスタンフォード大学の卒業式でスピーチをしております。非常に有名で感動的なスピーチだったと言われているそうです。その中からお話をしていきたいと思っています。

実際のスピーチはYouTubeなどで見ると字幕付きで出ていますので、これから英語をやりたいという方もいらつしやるようなので勉強も兼ねて、一度見ていただければと思います。ステイブ・ジョブズが講演の中で、これから社会に出る方に三つの内容を話しております。

一つ目は「Connecting the dots」いわゆる点と点を結ぶということです。二つ目は「Love and loss」愛と喪失。三つ目は「Death」死です。

まず、一つ目は「Connecting the dots」

岐阜県教育委員会 学校安全課長 酒井 猛様

スと捉えて、新しい人生を迎えていくということも考えていただけたらと思います。

三つ目は、皆さんには少し早いかもしれませんが、毎日鏡を見てこれが本当に自分の人生の最後だったらどうしようかと、何がしたいのか。自分のやりたいこと、やらなければいけないことの優先順位をつけてやっていくということです。

最後ありますが、英語で「Stay hungry, Stay foolish」要は「ハングリーであり愚直である」ということです。常に向上心を持ち続け、新しいことに愚直に取り組んでいっていただきたいと思っております。

皆さんのこれからの人生が希望に満ちて明るくなることを心から願っております。

三重県教育委員会事務局 生徒指導課長 向井 英規様

そんな中でも佐々木選手の支えとなつたのが野球でした。つらい中でも、周りの人や仲間を支えられながら、自分の好きなことに打ち込んできました。「たくさんモノを失って、新たに気づいたことがたくさんある。これからはそういうことがなるべくないように。後悔しないように。」と佐々木選手は言っています。

「毎日を後悔しないように一生懸命生きたい。」という思いをもつて過ごし、ついに自分の夢を叶えたのです。

夢や目標はすぐに叶うものではないけれど、毎日を後悔しないように過ごしていれば、きつと叶えることができますと信じています。皆さんにはたくさんの可能性があります。皆さんが未来に向かって前向きに歩まれることを願っています。

皆さんは、レジュエンスという言葉を知っていますか。レジュエンスとは「心の回復力」のことであり、逆境やトラブル、挫折など困難な状況で、しなやかに受け止め、あきらめずに立ち直る力です。例えるなら、ゴムボールを押さえた手を離れたときに、ゴムボールが元に戻るような力です。

中学を卒業して新しいステージに進む皆さんの中には、希望に胸をふくらませている人もいれば、新しい環境で失敗したかもしれないと不安を感じている人もいます。私もありません。しかし、失敗は決して悪いことではありません。発明王のエジソンは「私は失敗したことはありません。

人生にはいろいろな経験があります。今まで中学でいろいろな勉強を習ってありますが、要約すると「これからの経験がその後の人生にいろいろなところで関わっていく」ということです。ジョブズの話で例えると、ステイブ・ジョブズは大学に入りました。彼は、大学を出させていただくという条件で両親の里子に入りました。リード大学という立派な大学なのですが、中退してしまいました。なぜかという、学費がとても高く、彼はそれを無駄だと思っていました。

しかし、彼は大学に通い続け内緒で講義に出ていました。彼は、大学の友達の寮へ転がり込み、いくつかの講義をただで聞いていたのです。その中でとても好きだった「カリグラム」という、いろいろな美しい文字のデザインをやる講義が好きでとても興味を持って聞いていたそうです。

この話が、後のAppleコンピュータを作ったときに、初期の段階で非常に美しく人間の感覚で使いやすいということへ繋がっていったのです。ステイブ・ジョブズが言うには「もし、リード大学で聞いて学んでいなければ、そのようなデザインはできなかった。」と。要するに、初期の段階でAppleコンピュータが売れた一つの材料が10年後に効いてきたということです。これはジョブズの立派な例ですが、立派なことだけではありません。

先ほど話しましたが、日本の中学校ではいろいろな事を習いますが、国語から始まり9科目あります。体育も陸上から、水泳やバレーボール、サッカーなど、ありとあらゆることを体験させてくれます。その中で好きな科目や興味があることが出てくると思います。その様なことが、後に役に立つということです。

私は、小さい頃から模型づくりが好きでした。プラモデル作りに没頭し、最終

的には機械の設計などでも好きになり、そのような世の中の仕組みに興味を持った学生時代でした。

私は、運動が好きではありませんでしたが、高校に入ったときにまわりから運動部に入れと言われたので、1ヵ月ほど、いろいろな部を回り体験をしました。

中でもバドミントン部は辛く、入った途端に「とにかく走っている」と言われ毎日10キロ以上走らせる部でした。それから弓道部にも一度体験しましたが、これも1日中、鉄棒にぶら下がっていた記憶があります。あとは、ひたすら腕立て伏せをやったりと、最後は野球部での体験です。野球でも硬式が怖く、軟式なら当たっても痛くないので何とかやっていました。

それから20年ぐらい経ち、私も中年になりました。何かやらなければいけないと、偶然、弓道を再開しました。当時は、鉄棒にぶら下がりが続けた1回だけの体験でしたが、最近の土日の殆どは、弓道に行っています。私は転勤族で、その地域のクラブに入り、人との出会いが増え、いろいろな繋がりを持つことができました。

いろいろな経験を忘れずに覚えておけば、次の人生へと繋がります。

しかし、今後の経験の中にも「これからどうしていくべきなのか」と自分で選ばなければならぬ時もあります。偶然に頼るしかない時もあると思います。最初から自分で点を見つけて進めていくことは簡単にはできませんが、それをできた人がいます。大谷翔平です。彼は小学校から自分の未来をノートに書いて、着実に実行していきました。皆さんも経験を結びつけていくという考え方を持っていただけだと思います。

二つ目は愛と喪失「Love and loss」とてもロマンチックなタイトルですが、実は全然ロマンチックな内容ではありません。

皆さんは、レジュエンスという言葉を知っていますか。レジュエンスとは「心の回復力」のことであり、逆境やトラブル、挫折など困難な状況で、しなやかに受け止め、あきらめずに立ち直る力です。例えるなら、ゴムボールを押さえた手を離れたときに、ゴムボールが元に戻るような力です。

中学を卒業して新しいステージに進む皆さんの中には、希望に胸をふくらませている人もいれば、新しい環境で失敗したかもしれないと不安を感じている人もいます。私もありません。しかし、失敗は決して悪いことではありません。発明王のエジソンは「私は失敗したことはありません。

励ましのメッセージ

愛知県知事 大村 秀章様

中学ご卒業おめでとうございます。思い出と自信を胸に、皆様がさらに飛躍され、今後一層ご活躍されますようご期待申し上げます。



岐阜県知事 江崎 禎英様

本日の集いの開催を祝し、心よりお慶び申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、皆さんを見守ってこられたご家族の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

皆さんのますますのご活躍と、新たな世界が希望と輝きに満ちたものとなりますことを、心よりお祈りいたします。

岐阜県におきましても、皆さんの大切な命を守るべく、交通事故の無い、安全で安心な地域づくりを目指し、努力を重ねてまいります。

三重県知事 一見勝之様

卒業生のみならず

ご卒業おめでとうございます。学び舎を巣立つみなさんが、豊かで実りある未来を拓かれることを、心より祈念いたします。

三重県としても、交通事故のない安全で安心なまちづくりに向け、引き続き県民一丸となり、交通安全対策を推進してまいります。

名古屋市市長 広沢 一郎様

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

新たな門出を心よりお祝い申し上げます。卒業後も皆さんが、周囲の大人やお友達と手を取り合って、輝かしい未来に向かって歩んでいかれることを、心から応援しています。

中学卒業 おめでとう!



中学校卒業おめでとう!
これからも頑張るね



野村常務理事に
乾杯のご発声をいただきました



細野評議員に
講話をいただきました

大人になる自 覚が芽生え 周りへの感謝の気持ちも実感しています



教えていただいたことを
しっかりと披露できました



すてきな「想い」の発表を
ありがとう!!



真剣なまなざしで
コース料理を味わいます!



一緒に食べるって美味しいね!



ご支援、ご寄付に心より感謝申し上げます

当会は、国、地方自治体の補助を受けず、皆さまからの温かいご支援、ご寄付で、愛知県、岐阜県、三重県の交通遺児と保護者への支援活動を行っております。

「社会福祉法人中日新聞社会事業団」様を通じてご寄付の場合は「東海交通遺児を励ます会」とご指定ください。また、当会は平成24年7月に公益財団法人に認定され、当会への寄付は税制優遇が受けられます。

令和7年1月～4月にご寄付を賜りました。

皆さま方の温かいご支援、ご寄付に心より感謝申し上げます。
(敬称略・順不同)

団体

株式会社デンソークリエイト
中部日本ボールルームダンス連盟
プロフェッショナル選手会
株式会社広報企画
日本道路株式会社中部支店 道親会
愛知スズキ労働組合
RIIDE 運転代行利用者一同
株式会社力ワグチ
有限会社ビィトップス
全国共済農業協同組合連合会愛知県本部

個人

田原交通安全協会
ナカダンススクール 中谷 幹雄
一般社団法人 愛知県損害保険代理業協会
社会福祉法人 中日新聞社会事業団
柏森校下 交通安全の会
中部日信電子株式会社
一般社団法人 名古屋住友クラブ
アトミクス株式会社
株式会社オークワ 東海事業所
愛知車輛興業株式会社
キムラユニティー株式会社 従業員一同
トヨタ車体労働組合
株式会社日刊自動車新聞社 中部支社
株式会社真城ホールディングス

藤原 光広・美寿
後藤 安彦
クロミヤ マサカズ
野口 士葉
兵藤 文男
弁護士 岡田 貴文
高橋 広史
松尾 隆徳
吉野 雅山
細野 高弘
大池 八重子
匿名



行事案内・お知らせ

ふれあい懇親会

日常生活や子育て教育、進学など語り合いたいと思います。また、お子さま同伴、保護者のみでもご参加いただけます。

・令和7年7月26日(土)・10月18日(土)
【期限:令和7年7月18日メ切・9月30日メ切】

奥伊勢親子グランピング1泊2日親子旅行

・令和7年8月16日(土)～17日(日)
【期限:令和7年6月30日メ切】

カゴメファーム&信州1泊2日親子(バス)旅行

・令和7年11月1日(土)～2日(日)
【期限:令和7年7月31日メ切】

第58回 交通遺児を励ます大会

小学校入学祝金贈呈(第一部式典にて贈呈いたします)

・令和7年12月21日(日)
サイプレスガーデンホテル

第54回 中学を卒業する交通遺児を励ます集い

中学校卒業祝金贈呈(第一部式典にて贈呈いたします)

・令和8年3月15日(日)
サイプレスガーデンホテル

4月19日(土)ふれあい懇親会を開催しました。



4月26日(土)株式会社真城ホールディングス様よりバスケット観戦にご招待いただきました

現時点では開催を予定しておりますが、状況に応じて変更または延期、中止とさせていただきます。皆さまにはご理解とご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。

「祝金」申請時に、「交通事故証明書※」が必要となります。※コピー可

発行・編集 公益財団法人東海交通遺児を励ます会
名古屋市中熱田区金山町1-11-2 メイプル金山307号
電話 052-682-9819 FAX 052-682-9865
ホームページアドレス <https://www.tokai-kotsuiji.com/>
発行責任者 会長 吉野 雅山 印刷 ニホン美術印刷株式会社

お願い

住所や氏名などの変更は、事務局までご連絡をお願いいたします。